

当該研究分野区分		キーワード:					
分野大区分:	保健	デングウイルス/硫酸化糖、デングウイルス/グルクロン酸					
分野小区分:	薬学						
シーズのテーマ:							
抗デングウイルス剤							
【所属】			写真				
氏名:	池田 潔						
学部:	薬学部						
学科:	薬学科						
職階:	教授						
連絡先:	ikedata@ps.hirokoku-u.ac.jp						
【研究の概要】							
<p>本発明のメチル 3-O-スルホ-α-D-グルクロン酸誘導体は、デングウイルス宿主由来のウイルス受容体を構成する糖鎖分子の構造を模倣したグルクロン酸糖誘導体であり、デングウイルス感染を直接阻害する活性を有している。本発明の化合物は分子量が500以下の低分子糖であること、水溶性に優れていること、室温での安定性が高いこと、化学合成が容易かつ低コストであることなどの技術的な優位性を有する。当該技術分野においては、有効で安全性の高い治療薬としての抗デングウイルス剤ならびに感染を予防する製品が強く要望されている。</p>							
【研究の特長・従来技術との比較】		【研究の状況】					
この化合物を含む適切な剤形の薬剤を用いることでデングウイルスの感染に関連する疾患の予防および/または治療に用いる抗ウイルス剤としての有効性を期待できる。		<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="background-color: yellow;">着想</td> <td style="background-color: orange;">基礎</td> <td style="background-color: green;">応用</td> <td style="background-color: blue;">実用化</td> </tr> </table>		着想	基礎	応用	実用化
着想	基礎	応用	実用化				
		【課題、今後の方向性】					
		<p>デングウイルスワクチンは弱毒生ワクチンなどの開発が進められているが、有効性や、副反応の問題によりまだ実用化には達していない。現在、デング熱に対して有効な治療、予防方法は確立しておらず、本発明の化合物はデングウイルスの感染に関連する疾患の予防および/または治療に用いることができる。</p>					
【用途・効果】							
<p>本発明の抗デングウイルス剤は、デングウイルス宿主由来のウイルス受容体を構成する糖鎖分子の構造を模倣した糖誘導体であり、ウイルス感染を直接阻害する活性を有している。本薬剤は天然糖鎖構造を有しており、ヒトに対する免疫原性等の副作用を誘起する可能性が極めて低いと考えられる。</p>							
【関連資料・文献・参考事項】							
特開2012-97054							